

半布里

＝学校の教育目標＝

美しい心もち 自ら考え
たくましく 実践する子

夢と感動を目指した一年、ありがとうございました

校長 元田 秀人

3月24日の卒業式、25日の修了式をもって、今年度の全ての教育活動を終えることになります。保護者並びに地域の皆様方には、数多くのご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

1年生を迎える会、運動会、レインボーリング、大縄大会などの行事、委員会活動や分団登校で、いつも全校のリーダーとして頑張りと活躍していた6年生45名が卒業を迎えます。これも、ご家庭の皆様の温かな励ましに支えられての成果です。

平成27年度は、校舎の大規模耐震改修工事が行われ、防災の取り組みが一步進んだ年でした。

富加小学校の仲間と共に学んだこと、歴史のまち富加町で育ったことの誇りを胸に力強く巣立ってほしいと願っています。そして、在校生は、憧れた6年生のバトンをしっかりと引継ぎ「夢と感動のある学校」を目指して、自慢できる自分作りに頑張っていると思います。

今年度の教育活動の成果と課題をまとめました。次年度も子どもたち一人一人の確かな成長をめざして、教職員が一致団結して取り組んでいきますので、更なるご協力をお願いいたします。

平成27年度 富加小学校教育活動の成果と課題 ～児童・保護者アンケート、職員の自己評価結果より～

本校では、職員が自己評価を行ったり、児童や保護者の皆様にアンケートをとったりして、本年度の教育活動を振り返り、それらに基づいて来年度の教育活動計画の作成を行っています。また、学校評議員の皆様にも評価を頂き、指導の改善に努めてまいります。

今年度の教育評価の結果と、それに基づく来年度に向けた取組について、以下の通りご報告いたします。

※「加重平均」による達成率の算定

※ 達成率を 評価点とその人数を乗じた数の和を 全員が最高評価点を出したときの数値の割合で求めた。

$$\{4 \times (4\text{点の人数}) + 3 \times (3\text{点の人数}) + 2 \times (2\text{点の人数}) + 1 \times (1\text{点の人数})\} \div (4 \times \text{総人数}) \times 100$$

(4 : 実践し、成果が上がっている 3 : 実践し、成果が上がってきている 2 : 実践しているが、成果が不十分 1 : 実践が十分でなく成果がない)

達成率

1 授業の創造 ・分かる・できる授業の創造 ・個に応じた指導方法の充実	職員	①	算数科の授業を中心として、「読む」「聞く」「書く」「話す」などの基礎的な力が児童についてきましたか。(特に「話す」)	75.0%
		②	主体的な活動を通して、意欲的に楽しく学習を進める子に育ってきましたか。	78.3%
		③	少人数指導等の個に応じた指導を行うことによって、児童の学力は向上しましたか。	76.7%
	児童	①	毎日の授業は、よく分かりましたか。	85.6%
		②	漢字や計算の学習に努力することができましたか。	86.3%
	保護者	①	お子さんは、授業の内容をよく理解していますか。	77.2%

○「毎日の授業がよく分かる」、「漢字や計算の学習に努力することができた」と回答している児童が、ともに85%を超えている。

▲児童の自己評価と比較して、職員の自己評価(基礎的な学力の定着、意欲的な学習の達成率)は、80%未満となっている。児童は「分かっているつもり」でも、実際には理解が定着し切れていないということが考えられる。

◎今年度は、「平成27年度授業改善プラン」をもとに、「見届けろ」「指導しきる」「学び直し」を重点にして、授業改善に取り組んできました。来年度も、3つの見届け「実態の見届け」「学習状況の見届け」「定着状況の見届け」をキーワードに、授業改善に取り組んでいきます。また、「学習内容の定着を図るための家庭学習のあり方」についても、一層の充実をめざしていきます。

2 人間関係の醸成 ・豊かな心情と道徳的実践力を育てる道徳教育の充実 ・温かい人間関係づくりの徹底	職員	④	学年・学級での道徳的指導の充実により、時と場に応じたあいさつや行動ができる子に育ってきましたか。	80.0%
		⑤	学年・学級の諸活動や異年齢集団活動・児童会等の充実により、「よいところみつけ」が進んでできる子に育ってきましたか。	82.8%
		⑥	学年・学級の諸活動や異年齢集団活動・児童会等の充実により、毎日楽しく学校に登校できる子に育ってきましたか。	87.5%
	児童	③	時と場を考えたれいぎ正しい行動ができましたか。	83.2%
		④	友達や仲間の「よいところみつけ」をし、協力してなかよくすごすことができましたか。	87.0%
		⑤	楽しく学校生活をおくることができましたか。	90.9%
	保護者	②	お子さんは、学校生活を楽しく過ごせていますか。	89.0%

○「学校生活を楽しく過ごせている」と回答している児童、保護者が、約90%となっている。
○時と場に応じたあいさつ(行動)の項目で、前年度から達成度が上がっている。(職員④+8.1ポイント、児童③+3.6ポイント)
▲「富加小3つのじまん活動(あいさつ、歌声、掃除)」のあいさつは、年毎によい姿が見られているが、さらに時と場に応じた行動や地域の方々へのあいさつ等が課題である。

◎今年度は、道徳の時間を核にして、日々の生活との関連を図りながら、実践の積み重ねを大切にしてきました。来年度も、さらにねらいを明確にした道徳的指導をもとに、教育活動全体との関連を図っていきます。**305名の全児童と保護者の方が、「学校生活を楽しくおくることができる」といえる学校をめざして、温かい人間関係を醸成していきます。**

3 生活習慣の育成 ・安心安全な学校生活づくり ・健康づくりと食育教育の推進	職員	⑦	学級・学年での指導や一斉下校・通学班会などを通して、交通ルールを守り、安全に登下校できる子どもたちに育ってきましたか。	78.1%
		⑧	安全教育(学級指導等)や情報教育(Netモラル等)の充実により、自ら様々な危険を回避できる子に育ってきましたか。	71.9%
		⑨	体育の授業や学級遊びなどの活動を通して、仲間とともに進んで運動や遊びをしようとする子に育ってきましたか。	84.4%
		⑩	適切な給食指導・食育を通して、好き嫌いをせず、残さず食べる子に育ってきましたか。	87.5%
	児童	⑥	分団の友だちと一緒にルールを守り、安全に登下校できましたか。	88.2%
		⑦	自分で危険なことに気づき、気をつけて生活ができましたか。	93.0%
		⑧	体育や青空の時間には、進んで運動したり遊んだりできましたか。	91.0%
		⑨	栄養バランスを考え、マナーを守って残さず給食を食べましたか。	89.8%
	保護者	③	お子さんは、自ら危険を回避し、安全な生活をおくることができていますか。	81.3%
		⑤	お子さんは、家庭で進んでお手伝いができていますか。	67.7%

○安全指導(登下校)については、前年度と比較して上がってきている。(職員+9.0ポイント、児童+3.5ポイント)
○前年度に続き、好き嫌いをせず、残さず給食を食べる児童が多い。(職員87.5%、児童89.8%)
▲家庭でのお手伝いを進んで行うことができる子が少ない。(保護者67.7%)

<来年度に向けて>

◎安全教育については、日頃から防災計画、危機管理マニュアルに基づき全職員体制で取り組んできました。来年度はさらに学級指導の充実を図り、**安全指導や情報教育(Netモラル等)等、自ら危険を回避できる児童**をめざしていきます。

4 図書館の利用 学校図書館の積極的な利用	職員	⑪	適切な図書館指導・読書指導を通して、進んで本を借りたくさん本を読もうとする子に育ってきましたか。	65.0%
	児童	⑩	進んで本を借りて、たくさん本を読むことができましたか。	82.6%

○80%を超える達成率になっている。(児童⑩82.6%、+4.8ポイント)
▲高学年になるにつれ、積極的に図書館を利用する児童が少ない。(職員⑪65.0%、-8.4ポイント)

◎全校読書(毎週金曜)を、読書の「きっかけづくり」として、図書館の積極的な利用と読書指導を行ってきました。高学年は低・中学年と比べ、「図書館に借りにいく時間を毎日確保することが難しい」という現状がありますが、1学期から計画的に「お薦めの本」の紹介や調べ学習などを中心に、積極的な図書館の利用と読書指導を進めていきます。

5 じまん活動 ・気持ちの良いあいさつ ・ピカピカ掃除 ・明るい歌声	職員	⑫	進んで気持ちのよいあいさつをしようとする子に育ってきましたか。	79.7%
		⑬	静かにすみずみまできれいにしようとする子に育ってきましたか。	78.1%
		⑭	明るく元気な歌声で歌おうとする子に育ってきましたか。	78.1%
	児童	⑪	進んで気持ちのよいあいさつができましたか。	86.1%
		⑫	だまってすみずみまできれいに掃除をすることができましたか。	86.1%
		⑬	明るく元気な声で歌うことができましたか。	84.6%
	保護者	④	お子さんは、家庭や地域で進んで気持ちのよいあいさつができていますか。	78.0%

○「3つのじまん活動」については、どれも約85%(児童)、約78%(職員、保護者)となっている。(どの項目も前年度と比べてやや増加)

▲家庭や地域でのあいさつがやや課題である。

◎今年度は、「富加小3つのじまん活動」を、絆活動と関連づけながら、学校運営の中核として活動してきました。さらに、3つの活動を窓として、「じまんでできる自分・学級・学校づくり」を進め、家庭や地域に広げる指導を進めていきます。

6 生徒指導 信頼と愛情を基盤にして共感的理解に徹し、自己指導能力を育てる	職員	⑮	教育相談週間やQ-U等を通して、予防的教育相談の充実に努めましたか。	79.7%
		⑯	児童に寄り添い、愛情に裏付けられた厳しさをもって生徒指導に努めることができましたか。	78.1%
	児童	⑭	相談やなやみごとなどがあるときには、先生たちや家族・友だちに相談できましたか..? (ない場合は/)	80.3%
		⑮	間違ったことをした時には、先生たちはちゃんと注意してくれましたか。(ない場合は/)	92.2%
	保護者	⑥	学校の教師は、お子さんの話(悩みごと、相談など)をよく聞けていると思いますか。	79.6%
		⑦	学校の教師は、善悪の行動に対して、はっきりとした指導ができていますか。	85.3%

○教師は、善悪の行動に対して、はっきりと指導(注意)する(児童⑮92.2%、保護者⑦85.3%)の項目で、高い評価となっている。

▲職員の自己評価は、予防的教育相談、生徒指導ともに前年度からやや下降している。(職員⑮-7.1ポイント、⑯-4.3ポイント)

◎今年度は、教育相談週間やQU検査だけでなく、日常の学校生活全般を通して、児童への共感的理解に徹する生徒指導体制を重点にしてきました。さらに、「予防的教育相談に努め、児童一人一人に寄り添う生徒指導」を進めていきます。

7 地域に開かれた学校経営 ・説明責任 ・理解・協力・連携 ・共通理解 ・保護者対応 ・安全・安心	職員	⑰	学校の教育方針や教育活動の様子を、懇談会や学年だより、HP等を通してわかりやすく伝えるよう努めましたか。	80.0%
		⑱	地域や保護者の協力を得ながら、地域の良さを生かした教育活動を心がけましたか。	75.0%
		⑲	保護者や地域の方に、明るい挨拶や丁寧な話し方、対応を心がけましたか。	90.6%
		⑳	管理が適切になされ、安全で学びやすい環境になっていますか。	81.3%
	保護者	⑧	学校は、教育方針や教育活動の様子などを、懇談会や学校・学級だより、ホームページ、町広報などで、分かりやすく伝えていきますか。	84.5%
		⑨	学校は、明るい挨拶や丁寧な話し方・対応(訪問・来校時・電話等)をしていますか。	89.0%
		⑩	学校は、安全で学びやすい環境になっていますか。	88.6%

○職員の対応については、一昨年にやや低い評価であったが、年毎に改善されてきている。(職員⑲90.6%、保護者⑨89.0%)
▲さらに地域や保護者の方の協力を得ながら、地域のよさを生かした教育活動の工夫をおこなっていくことが課題である。

◎今年度は、保護者の方々に安心していただけるよう、より分かりやすい情報の発信をめざしてきました。さらに、「**安全・安心できる学びやすい富加小**」をめざして、学校環境を整えていきます。

8 絆の日	職員	㉑	「絆の日」の取り組みは、生命を大切にすることへの意識の高揚につながっていますか。	87.5%
	児童	⑯	絆の日にかかわる学びを通して、自分の命を大切にすることや、仲間を大切にしようとする気持ちが高まりましたか。	92.7%
	保護者	⑪	学校は、命を大切にする教育(絆の日の取組など)を実践できていますか。	87.5%

◎今年度は、毎月の「絆の日」と「富加小3つのじまん活動」を関連づけながら、児童の主体的な活動を大切にしてきました。今後も、「絆の日」にかかわる活動を継続していくなかで、決して形骸化することなく、**自他の生命を尊重し、思いやりの心を育む取組として、全教育活動に生かされるよう**、一層の充実を図っていきます。



今年度も残すところあとわずかとなりました。保護者の皆様のご理解のおかげをもちまして、多くの成果を残すことができました。また来年度への課題も明確になってきました。来年度は、「あいさつ、読書、学習」などの習慣化を図るためにより一層、学校と家庭との連携を大切にしていきたいと思えます。

今後とも、本校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

